



料理講師が Kindle出版すべき 「本当の理由」

本の向こう側にある、
自己肯定と感動のシナリオ

9割の人が本当に求めているもの

「本を出したい」は表面的な願い

多く人は、単に本という「物体」が欲しいのではありません。

出版という大きな山を乗り越えた先にある「**感情の変化**」や、自分自身を誇らしく思える「**自己重要感**」こそが、真の目的なのです。



講師が抱える 「見えない負担」

華やかな講座の時間は、ほんの一瞬です。

しかしその裏側には、**膨大なレシピ考案の時間**、繰り返される試作、コスト、そして孤独な悩み時間が隠されています。

この「準備の重み」は、受講生にはなかなか見えにくいものです。



努力が「消費」される虚しさ



一瞬で消える芸術

魂を込めて作った料理も、食べてしまえば一瞬で消えてなくなります。

「美味しかった」という言葉は嬉しい反面、自分の努力が消費され、何も残らずに消えていくような「**満たされない想い**」を抱えていませんか？

Kindle本は「消えない資産」

努力をカタチに残す

Kindle本は、あなたの知恵と努力を永久に保存します。

消費されて終わるのではなく、あなたの実績としてずっと残り続ける「資産」へと変わります。

それは、消えていく料理とは対照的な存在です。



「レシピ本とは、
頑張ってきた自分への
感謝状である」

人の心を動かすアプローチ



共感 (Empathy)

「準備大変ですよね」「努力が消えるのは寂しいですよね」と、隠れた痛みに寄り添う。



承認 (Validation)

出版をビジネスとしてだけでなく、「自分へのご褒美・トロフィー」として提案する。



未来 (Future)

本という「形」に残すことで、自分のキャリアと人生が肯定される未来を見せる。

Image Sources



<https://media.istockphoto.com/id/1465840243/vector/illustration-of-surreal-iceberg-abstract-identity-concept.jpg?s=612x612&w=0&k=20&c=7HxBMvcRUjB1DSifhXSiCLYfl35i2-xf6vw7fOE2YfQ=>

Source: www.istockphoto.com



<https://media.istockphoto.com/id/1446732428/vector/happy-woman-cooking.jpg?s=612x612&w=0&k=20&c=KzygOkFOHwWmWI-O6b8l6moWTRPM6f177ToVmxoc8K8=>

Source: www.istockphoto.com



https://media.istockphoto.com/id/180195089/vector/bowl-with-crumbs.jpg?s=612x612&w=0&k=20&c=CUqVV8oy558OlvczojsWTXdF2oehLQ9YCa_iUtKzYOE=

Source: www.istockphoto.com



https://m.media-amazon.com/images/I/71Z4lxIWZvL._AC_US1400_.jpg

Source: www.shopabunda.com



<https://cdn.mos.cms.futurecdn.net/XekDtfXXEzgovWybCwuTNR.jpg>

Source: www.homesandgardens.com